

# 道写協

## 北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内  
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)  
<http://www.dosyakyu.org/>

第126号

## 第62回写真道展にむけて

審査委員長 駒井千恵子



### ■私がつもってきた写真の道

第62回写真道展も間近に迫ってまいりました。この度、審査委員長として責務を果たすように仰せつかりました。月並みな言い方ですが、この大役をお受けするのは時期尚早ではないかなどと迷いました。しかし、長い写真活動をしながら「できない」ではあまりにもふがいない、私なりの視点で二石を投じることがあってもいいのではと臨むことにいたしました。私は楽しみの一つとして写真を撮ってまいりました。空いている時間のほとんどはカメラ

を持ち歩き手や足と同じようにカメラを使っ  
てまいりました。ある時写真道展に入賞した  
という方の新聞記事を見て、私もコンテスト  
というものに応募して写真のレベルを確かめたい  
という思いから写真道展に応募するようにな  
りました。

### ■道内最大のコンテスト

「写真道展」という北海道では最大のコンテ  
スト。今、審査をする立場になってどんなこ  
とがこの難関を突破するうえで大切なことな  
のか少しずつ見えてまいりました。

すでに皆さんは応募作品が決まっているで  
しょうか。私は、過去に応募するうえでの注意  
点などは支部を通して聞いておりました。それ  
は「二重応募」はしないようにということだっ  
たように思います。その言葉の輪郭がはつきり  
見えてきたのが審査をするようになってから  
なのです。「同じような写真を『部門』を変えて  
応募しない」「応募者が違っても同じ場所、似  
たアングルで撮ったものはいい写真であつても  
片方が振り落とされる」「過去数年の道展作

品集を振り返って、今、応募する作品と類似  
したものが入賞、入選していないか」などを  
チェックする必要があります。テーマとなる部  
門を適切に選ぶこと、部門にあつていない場合  
は最初から審査の対象にならないなどの制約  
があります。それらをクリアさせ、応募するこ  
とが大切です。

また、これからの期間に出品作をと思ひ描  
いている方もいらつしやるでしょう。写真道展  
は3部門ありますが、その部門に適応する作  
品内容で、さらに「芸術性」を重視した作品で  
あること、加えて独創的な写真こそ審査員の  
眼を引き付けてやまないと思ひしております。  
写真は楽しいものです。コンテストに応募す  
る、個展などで作品を発表するなど次々に目  
標が持てます。それがよりよい人生にもつな  
がっていきます。被写体が決まったら、機材を  
を選び、すでに取得している感性を活かして、  
何を伝えたいかがわかる写真を撮ることが、い  
い写真の条件ではないでしょうか。ひいては「写  
真道展」の輝きのなかに身をおくことになる  
でしょう。今、私はなんらかの形で発表したと  
き「その写真が欲しい」と言われた時、評価さ  
れた嬉しさでいっぱいになります。

### 略 歴

写真をはじめて40年ほどになり、花をライフ  
ワークとしている。写真展・お花畑の彩り(富士  
フォト札幌)、野に山に誘う花のギャラリー、日高  
の花 神々の彩り、風吹き荒ぶ襟裳岬に花と生き  
る、(富士フォトサロン東京)写真集「アポイ岳え  
りも岬花日記」「アポイ岳えりも岬花歩記」「大雪  
山花の道」「日高路やま花たび」「花あるきアポイ  
岳えりも」

## 心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。  
旅の出会いはフォトジェニック。  
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは  
**TEL(011)241-6401**

営業時間  
月～金曜日 9:30～18:00  
土曜日 9:30～12:00  
日曜日・祝日は休業

旅行企画・実施  
安心と信頼の

# 道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

## 私が期待する写真

## — 招聘審査員から

小松ひとみ

北の大地は私の憧れ



はじめて写

真道展の審査

をさせていた

だきますが、

このご縁に感

謝し、しっか

りと写真に向きあつて審査をさせていただきたいと思っています。

助手歴17年の間、年に二度は先生のお手伝いで北海道の撮影に同行していました。メインはお決まりの夏のお花畑に冬の丹頂や流水等々。秋田に住む私にとってそのどれもが美しく、半端でないスケール感に圧倒されました。フリーになつてからは残念ながらじつくりと撮影に訪れたことはなく、北の大地はまだまだそこがこれの存在です。

今、内地に住む私が見る北海道の写真の印象は当時と少し違つてきています。相変わらずの美しさとスケール感には変わらないうえ、見る写真のほとんどが事象に撮らされている景色や動物が多いような気がしています。それら

はもとより素晴らしい作品揃いですが、残念ながら北海道が内包する魅力は見え、そして撮る者の顔が見えてこない作品が大半です。

私自身は、秋田で生まれ育つたからこそ撮れる写真があると実感しています。そこで生きていくからこそ、その土地の光や風や香り・…等が表現できるものと思っています。またそれが地方で写真を撮る者の使命だとも思っています。

## 作者の想いが伝わる作品を

さまざまなコンテストの審査をさせて頂いていると、今までの上位入賞者の作品にならつて応募されてくるパターンが多くなる傾向が見受けられ、残念に思う事が多々あります。

作者が何を感じて何を伝えようとしているのか、作者の想いが見る人にきちんと伝わるかどうか、そしてそこにオリジナルティーがあるかどうかが大事だと思います。どこかで見た写真を模倣し追従して行くスタイルや、奇をてらうような作品は、ぱつと見た感じは良くてもそこに感動はありません。たとえ有名撮影ポイントや有名な祭りにでかけたとしても、人とは違う自分なりの視点が作品に反映していかなくては自分の写真とはいえないと思つています。

最後に、写真は撮つて終わりではありません。プリントも含めて一つの作品作りと考えて

います。最近プリントの質は上がつてきているものの、どうしてもお家プリントの限界が見え、もつたない作品をよく見かけます。最後の仕上げのプリントにまでしつかりと想いを乗せた方の作品には選者の心を強く動かす力があります。応募されるプリントにもしつかり力を入れてください。

## ❖小松ひとみ先生の紹介❖

- 1956 秋田県角館町に生まれる
- 1974 (株)エニチカバスケットボール部在籍
- 1983 黎明舎勤務 千葉克介氏に師事
- 1995 写真集「光彩」上梓
- 1999 独立 風景写真を中心に作品発表を続けている。

なお招聘審査員としては、昨年会報で紹介した岸本日出雄先生が引き続き審査にあられます。他に委員長を含め28名の写真道展審査員が審査を担当します。

## 写真道展実行委員会要項の改正について

## ～ 来年の総会で審議

昨年の総会で北海道写真協会の規約改正が承認されました。それを受けて付則の「写真道展実行委員会要項」の改正に向けての検討をはじめました。その理由は

- 1 現行の要項が現状に合わない部分がある

- 2 道写協規約との整合性の必要
- 3 60回展を機に内容の再検討  
などです。

要項の検討は2013年の9月13日から始まり、本郷正利、山下 智、森 哲、中野潤子の4人のメンバーで行ないました。7度にわたる検討会は第4回の検討会から道新の若林部長と武藤会長も参加し、主催者としての意向も取り入れられました。

また、審査員に道展に関するアンケートも行い、その意見を参考にするなどして、二応の原案がまとまりました。

今後の取り組みとしては来年の総会で審議決定の予定です。

大きな改正点は

- 1 現行にはない写真道展の事務局を新規に道新文化事業社に置き、事務局長は同社の社員が務める。
- 2 実行委員会が選出していた審査委員長、奨励賞選考委員、招聘審査員の選考を、主催者が行う。
- 3 会友奨励賞選考委員の選考規定になつた人数を、若干名とする。
- 4 審査委員長、奨励賞選考委員の選考条件のひとつである写真展の開催に関して、現行の「内容会場に関しては審議の対象とする」の文言を削除するの4点です。

▲ 支部探訪—中標津 支部長 福沢 英雄

■ 被写体がいっぱい

既に御承知のように私達の住む町は根室管内北部に位置します。根室半島と知床半島に挟まれ、トドワラの野付半島に近い場所にあります。

北方領土の国後島が見える海があり、山や川があり、平地には牧場があつてミルクがいっぱい！ 温泉も空港も、世界自然遺産の知床と北方領土もその領域に含まれています。

標津の海岸から見る屈折でゆがむ「四角い太陽」、秋サケ漁の網を引き揚げる光景等、風景写真をジャンルとする全国のカメラマン



中標津支部総会で

にとつてこれらの自然はまさに宝庫でありこの上なく恵まれた地域と言えましようか。

さて当支部の発足は30年以上も前の事で、現在は審査会員、会友を含め会員数は10名。発足当初は大体地元で集中していた会員も、転勤族が多いこともあり今は全道にちりじりばらばらで、頻繁な例会や会員揃つての撮影会等はなかなか難しいというのが現状です。

しかし退会や、他の写真クラブ等に移るという仲間は少なく、年に1度の支部総会を兼ねた懇親会では、撮りためてある自慢の写真をどつさり持ち寄つて写真談議や近況報告に花を咲かせます。

■ 道新に写真掲載

活動と言えば、北海道新聞社から、「街角スナップ」への写真掲載の依頼を受けています。折に触れてローカル紙面で、「道写協中標津支部〇〇〇〇」と撮影者と作品名が紹介され、道写協支部会員としての大きな励みになっています。

地元では「北方領土」も撮影範囲に含まれており「ビザなし訪問」の折りに撮影した写真もよく紹介されています。

個人的には私も元島民で、現在千島歯舞諸島居住者連盟に所属しており、名刺には「知

ることが四島返還の第一歩」と印刷しています。これまで17回程、墓参、自由訪問、友好渡航等で切符が授かつており、北方四島の写真も相当数になります。

国後訪問時の爺々岳(ちやちやだけ)の夕陽や建設中の港湾ターミナル、色丹島での交流会でバレエを披露するロシア人の写真等はポストカードとして教材にもなっています。その時の1枚をご覧ください。

国後島、爺々岳(ちやちやだけ)をバックに



▼ 写真展開催の方お知らせください

開催日程が会報発行時期と合えばPRできます。

◎編集担当  
山本▼(011)386・6322  
メールアドレス:yama-98@nifty.com

◆ 学生写真道展広報活動 ◆

「創造的で若い感性の写真をお待ちしています」というリーフレット(チラシ)と共に学生写真道展の募集要項が全道高校写真クラブ

の生徒達およそ500人に手渡されました。



「おはようございます！ 学生写真道展の案内です。」

10月21日から札幌コンベンションセンターで開かれた高文連の全道高校写真研究大会初日の朝、会場入口で写真道展実行委員4名が配布作業を行いました。

大会事務局への配布依頼やリーフレット制作、けんしょう炎を心配しながらのホットキスでの綴じ込み作業を経てこの日の配布となりました。

この配布活動は毎年高文連大会が開かれる各地の支部に依頼しています。来年以降該当の支部は御協力をお願いします。

受け取る高校写真部の生徒達は思っていた以上に素直で、丁寧にお礼を言う好青年が多く配布しながらも心温まる思いでした。

「写真道展」同様「学生写真道展」のPR広報活動にも機会をとらえてぜひ積極的な御協力をお願いします。

# 第2回 支部例会フォトコンテスト 入賞・入選作品

平成26年5月～11月



審査風景



1席「繋がり」(モノクロ) 藤田万理子(札幌)

## 第2回 支部例会フォトコンテスト審査発表表

北海道写真協会副会長 本郷 正利

平成26年12月12日北海道新聞社において、第2回支部例会フォトコンテストの審査が行われました。

全道11支部70名の会員より合計166点の例会上位作品が寄せられました。

例会上位作品からの応募とすることで、質的レベルの高い力作の中から、谷口勲夫審査委員長の慎重な選考により、以下の会員が入賞の荣誉に輝きました。

札幌支部は昨年に続き2年連続個人1席支部1位入賞となりました。

### ◆個人賞

1席 藤田万理子(札幌)  
2席 澤田 住子(三笠)

1位 札幌支部(10点)  
2位 三笠支部(8点)

3席 成田 正利(室蘭)

2位 室蘭支部(8点)

3席 久留嶋誠悦(苫小牧)  
友広 茂夫(岩見沢)  
我妻 英信(北見)

※1席(10点)2席(8点)  
3席(6点)入選(3点)

入選 中島 武士(栗山)  
松葉 師正(留萌)  
蝦名 昇(釧路)  
吉村登美子(恵庭)

※支部賞は3支部まで。  
※表彰式は平成27年度支部長会議(総会)で行います。

### ■講評

日本写真芸術学会会員 谷口勲夫

1席▼藤田万理子「繋がり」大好きなおばあちゃんとの絆、核家族では見られない情景。モノクロだからこそその陰影が際立ち素晴らしい。

2席▼澤田住子「ハッピーウェディング」今年オープンのアカレンガテラス、生花を敷きつめた花ロードでの結婚式、観光客も大喜び。

2席▼成田正利「退屈な午後」体脂肪が多く、散歩は苦手だよ」と言いたそう、くり目のユーモラスな犬の表情を捉えています。

3席▼久留嶋誠悦「頑張り」祭りの象徴ことも相撲では、着飾る廻し姿が、ちびっこの可愛らしさを見事に写し出しています。

3席▼友広茂夫「勝ち水みこし」ストロボを上手く使い、飛沫や躍動感を狙い、祭りの雰囲気的確に表現しています。

3席▼我妻英信「ライトアップの夜」若者たちのデートスポットでしょうか、芝桜公園に浮かぶ二本の樹木が印象を強めています。



2席「ハッピーウェディング」(カラー) 澤田住子 (三笠)



2席「退屈な午後」(カラー) 成田正利 (室蘭)

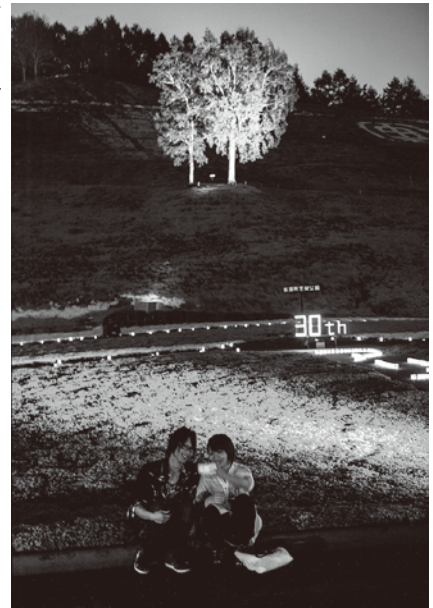


3席「頑張れ」(カラー) 久留嶋誠悦 (苫小牧)



3席「勝ち水みこし」(カラー) 友広茂夫 (岩見沢)

3席  
「ライトアップの夜」  
(カラー)  
我妻英信  
(北見)



入選  
「雨上がりの海王丸」  
(カラー)  
中島武士  
(栗山)

入選  
「道化」  
(カラー)  
松葉師正  
(留萌)



入選  
「争奪戦」  
(カラー)  
蝦名 昇  
(釧路)

入選  
「融合」  
(カラー)  
吉村登美子  
(恵庭)



### 支部例会成績

#### 札幌 支部長 山本隆晟

- ▽8月例会(22日) 谷口勲夫元道新写真部長選考
  - ①今明美
  - ②難波江
  - ③村上和子
  - ④三橋和雄
  - ⑤澤田一夫
  - ⑥香取征子
  - ⑦林繁造
  - ⑧裏征子
  - ⑨安田敏彦
  - ⑩城伊志勝
- ▽9月例会(19日) 加賀谷重雄審査会(員選考)
  - ①原禎子
  - ②松本雅彦
  - ③安田敏彦
  - ④菊地昌博
  - ⑤林繁造
  - ⑥小賀野京子
  - ⑦今明美
  - ⑧村上和子
  - ⑨幾田祥健
  - ⑩山本隆晟
- ▽10月例会(17日) 中野潤子審査会(員選考)
  - ①今明美
  - ②林繁造
  - ③砂澤 彦
  - ④藤田万理子
  - ⑤坂本幸夫
  - ⑥山形典夫
  - ⑦城伊志勝
  - ⑧安田敏彦
  - ⑨村上和子
  - ⑩山本隆晟
- ▽11月例会(21日) 経塚剛敏審査会(員選考)
  - ①原禎子
  - ②荻田貞子
  - ③山本隆晟
  - ④難波江
  - ⑤菊地昌博
  - ⑥城伊志勝
  - ⑦藤田万理子
  - ⑧林繁造
  - ⑨澤田一夫
  - ⑩坂本幸夫

#### 旭川 支部長 馬場和美

- ▽8月例会(7日) 田村健太郎審査会(員選考)
  - (特選)①阿部三重子
  - ②池田政人
  - ③浦島寛
  - ④森田正義
  - ⑤伊藤勝利
- (入選)池田政人 田中昭一 小山満 浦島寛 田中昭一
- ▽9月例会(11日) 福田光男審査会(員選考)
  - (特選)①⑤小山満
  - ②伊藤勝利
  - ③田中昭一
  - ④阿部三重子
  - (入選)白田忠雄 田中昭一 白鳥敏昭 浦島寛 吉田祥子 森田正義
- ▽10月例会(9日) 田本實審査会(員選考)
  - (特選)①②伊藤勝利
  - ③小山満
  - ④武田千枝子
  - ⑤宮崎章子
  - (入選)田中昭一 浦島寛 伊藤勝利 細川貞子 阿部三重子 三本芳男
- ▽11月例会(13日) 志賀芳彦・田村健太郎審査会(員選考)
  - (特選)①白鳥敏昭
  - ②池田政人
  - ③早坂藤男
  - ④伊藤勝利
  - ⑤小山満
  - (入選)伊藤勝利 白田忠雄 吉田清治郎 細川貞子 田中昭一
- ▽平成26年 年度賞
  - (年度賞)白鳥敏昭 (準年度賞)伊藤勝利 (最高作品賞)白鳥敏昭 (奨励賞)小山満 (敢闘賞)田中昭一 (新人賞)白田忠雄

#### 栗山 支部長 黒田幸則

- ▽8月例会(25日) 山岸幸雄審査会(員選考)
  - ①会員外作品
  - ②黒田幸則
  - ③中島武士 (入選)黒田幸則 斎藤優子 中島武士 会員外作品1点
- ▽7月例会(10日) 工藤一男審査会(員選考)
  - ①北構善一郎
  - ②影に向かつて
  - ③林田定昭
  - ④長尾芳文
  - ⑤桶谷駿矢
  - ⑥松坂正彦
  - ⑦中川ミエ子

#### 釧路 支部長 岡本雄毅



7月例会 1位「影に向かつて」(カラー) 北構善一郎

#### 小樽 支部長 川原静雄



9月例会 1位「サンセット」(カラー) 高橋省三

- ▽9月例会(3日) 嶋田洋子審査会(員選考)
  - ①高橋省三
  - ②サンセット
  - ③嵯峨秋雄
  - ④一條周二
  - ⑤成沢克朗
  - ⑥白石純
  - ⑦小林好江
- ▽11月例会(5日) 増田輝敏審査会(員選考)
  - ①成沢克朗
  - ②高橋省三
  - ③松居秀昭
  - ④嵯峨秋雄
  - ⑤白石純
  - ⑥一條周二
  - ⑦小林好江

#### 岩見沢 支部長 尾崎和男

- ▽6月例会(4日) 審査互選
  - ①木村克巳
  - ②温もり
  - ③山崎正義
  - ④鈴木佳夫
- ▽7月例会(9日) 審査互選
  - ①木村克巳
  - ②水上孝子
  - ③沢田行子
- ▽8月例会(6日) 審査互選
  - ①友広茂夫
  - ②鈴木佳夫
  - ③水上孝子
- ▽9月例会(10日) 審査互選
  - ①山崎正義
  - ②木村克巳
  - ③友広茂夫



6月例会 1位「温もり」(カラー) 木村克巳

#### 恵庭 支部長 西澤 實



9月例会 1位「木漏れ日」(カラー) 加藤憲秋

- ▽9月例会(20日) 審査互選
  - ①加藤憲秋
  - ②木漏れ日
  - ③吉村登美子
  - ④塩田直
  - ⑤田中康夫
  - ⑥服部健治
  - ⑦佐野ミヨ
  - ⑧吉村剛
  - ⑨村井正人
  - ⑩黒健二
- ▽11月例会(10日) 加賀谷重雄審査会(員選考)
  - ①目黒健二
  - ②田中康夫
  - ③五東建夫
  - ④村井正人
  - ⑤加藤憲秋
  - ⑥吉村剛
  - ⑦吉村登美子
  - ⑧藤徹也
  - ⑨中村忠司

#### 余市 支部長 金子勝彦

- ▽8月例会(16日) 審査互選
  - ①石岡誠三
  - ②谷橋準一
  - ③丹野光雄
  - ④金子勝彦
  - ⑤塩野謙造
  - ⑦谷橋誠子
- ▽9月例会(13日) 審査互選
  - ①石岡誠三
  - ②二戸弘利
  - ③谷橋準一
  - ④塩野謙造
  - ⑥丹野光雄
  - ⑦谷橋誠子
- ▽10月例会(11日) 審査互選
  - ①谷橋準一
  - ②石岡誠三
  - ③塩野謙造
  - ④谷橋誠子
  - ⑤丹野光雄
  - ⑥後藤芳江
- ▽11月例会(16日) 審査互選
  - ①谷橋準一
  - ②丹野光雄
  - ③石岡誠三
  - ④塩野謙造
  - ⑤金子勝彦
  - ⑦谷橋誠子

#### 室蘭 支部長 佐々木 昇

- ▽7月例会(24日) 中西勉審査会(員選考)
  - ①成田正利
  - ②工藤司郎
  - ③多田逸三
  - ④玉手睦子
  - (入選)工藤司郎 田村謙次 鳴海政史 多田逸三 森美津雄 長澤剛 太田秀樹
- ▽9月例会(26日) 浪岡和雄審査会(員選考)
  - ①成田正利
  - ②玉木英雄
  - ③田村謙次
  - ④栃元幸一
  - (入選)太田秀樹 田村謙次 鳴海政史 伊藤克巳 山田しげき 多田逸三

#### 留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽8月例会(10日) 審査互選
  - ①畑忠幸
  - ②松葉師正
  - ③高山亮太
  - ④崎出恒夫
  - ⑤川上正巳
- ▽9月例会(7日) 審査互選
  - ①澤岡政江
  - ②川上正巳
  - ③加藤美佳
- ▽10月例会(5日) 審査互選
  - ①川上正巳
  - ②澤岡政江
  - ③畑忠幸
- ▽11月例会(24日) 審査互選
  - ①川上正巳
  - ②松葉師正
  - ④工藤勝
  - ④崎出恒夫

#### 編集後記

支部フォトコンテストに入賞・入選された皆様、おめでとうございます。今年も多くの皆様から原稿をお寄せいただき、感謝いたします。平成26年も、あとわずかとなりました。会員の皆様、よき新年をお迎え下さい。

森田